

気候情報

2020年3月の日本の天候

- 北・東・西日本では、気温がかなり高かった
- 降水量は、北日本太平洋側でかなり多かった
- 北・西日本と東日本日本海側では、日照時間が多かった

3月の天気概況

高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過し、全国的に天気は数日の周期で変化した。低気圧は日本海から北日本付近や本州南岸を通過しやすく、北日本太平洋側では月降水量がかなり多くなった。一方、中旬以降は大陸から移動してきた高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月間日照時間は北・西日本と東日本日本海側では多かった。全体としては、冬の気圧配置は現れにくく、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は全国的に高く、北日本の月平均気温は1946年以降で1位の高温となった。

上旬：本州南岸や日本海を低気圧が頻繁に通過したため、広い範囲で曇りや雨の日が多く、北日本太平洋側の旬間日照時間は1961年の統計開始以降で最も少なかった。また、低気圧の通過に伴い、大雨となった所もあった。気温は、南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかったため、全国的に高い日が続いた。東日本の旬平均気温は1961年の統計開始以降で最も高かった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北・東・西日本太平洋側でかなり多く、北・西日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側と東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本日本海側で多かった。西日本日本海側では平年並だった。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。高気圧に覆われる日が多く、全国的に日照時間が多かった。低気圧は日本の南や日本海を通過しやすかったため、北・東日本日本海側では雨や雪となった日があり、沖縄・奄美では期間のはじめと終わりに雨となった。気温は、沖縄・奄美では、大陸から寒気が流れ込みやすかったため低かったが、北・東・西日本では、総じて南から暖かい空気が流れ込みやすく高かった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。一方、西日本でかなり少なく、北・東日本太平洋側で少なかった。

旬間日照時間は、東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本と東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。

下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。29日は南岸低気圧の影響で寒気が流れ込んだため、関東甲信地方と福島県では大雪となった所があった。気温は、南から暖かい空気が流れ込みやすく、全国的にかなり高くなり、沖縄・奄美の旬平均気温は1961年の統計開始以降で最も高かった。

旬平均気温は、全国的にかなり高かった。

旬降水量は、東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。一方、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本日本海側と西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本でかなり多く、東日本日本海側と沖縄・奄美では多かった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

3月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

月降水量：北日本太平洋側でかなり多く、北・西日本日本海側、東日本太平洋側及び沖縄・奄美で多かった。東日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：北・西日本と東日本日本海側で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

—— 3月の記録（1位更新のみ、タイ記録含む）——

・月平均気温高い方から（℃）

秋田（秋田県）6.4など38地点

2020年3月の平年差（比）図

